



NIPPON BEARING

1月21日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】 ネット通販で需要が増す物流業界、物流ロボティクス市場は2030年度予測では何倍に？

- ① 2倍 ② 4倍 ③ 8倍

【答え】 ③ 8倍

【解説】

その動作から、『ポチ買い』『ポチる』等の流行り言葉が出現するほど普及しているネット通販（通信販売）。PC・スマホ利用者なら、一度は購入したことがあるのではないのでしょうか？

昔の通販はカタログ販売やテレビショッピングが主流で、店頭販売の補助的な位置付け・特定の消費者向けでしたが、インターネットの普及によりネット通販として急速に浸透していきました。ネット通販は一つの販売ルートとして地位を確立、利用者も不特定多数になりました。

通販では、購入者が選んだ商品を、《ピッキング》→《箱詰め・梱包》→《配送》する作業工程が必要となるため、注文の増加と共に物流量も増えます。

この物流を担うために、近年、物流ロボットの導入が注目を集めています。

2019年度には前年度比155.3%増の約131億円だった物流ロボティクス市場は、2020年度には約175億円、2030年度には1,509億円になることが予測されています。

※出所：(株)矢野経済研究所「物流ロボティクス市場に関する調査（2020年）」2020年9月14日発表。

2020年、私たちの生活を一変したウィルスの脅威。

いつでも・どこでも利用できるネット通販は、私たちの生活を支えてくれました。

そして、密集出来ない私たち人間の代わりに、ロボットの活躍が期待されています。

2021年は、人とロボットの関係が更に密接になることでしょう。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】